

## 1. 第12回北太平洋海上保安フォーラムサミットの開催



左から、カナダ、中国、日本、韓国、ロシア、アメリカの各長官等

9月12～15日の間、北太平洋地域6カ国の海上保安機関の長官級による「第12回北太平洋海上保安フォーラムサミット」が横浜で開催されました。

このサミットでは、各国海上保安機関の長官級が、互いの絆を一層強化することで、北太平洋の海上安全セキュリティー並びに海洋環境を守り抜くとの決意を新たにしました。

## 2. フィリピンコーストガード長官が海上保安大学校を訪問



フィリピンコーストガード長官と瓜生海上保安大学校長

9月6日、フィリピンコーストガードのリワグ長官が海上保安大学校（広島県呉市）を来訪しました。

海上保安大学校ではシミュレーションセンター、潜水訓練用プール、練習船「こじま」などの施設見学が行われたほか、現在実施されているアジア海上保安初級幹部研修等の授業を見学するなど、日本とフィリピン間の海上保安機関の交流を深めました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3  
03-3591-6361（代表）  
（編集・企画）海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

### ～自己救命策 3つの基本～

海に落ちても沈まない  
ライフジャケット  
の着用

1



家でも大丈夫(防水パックの確保)  
携帯電話の携行

2

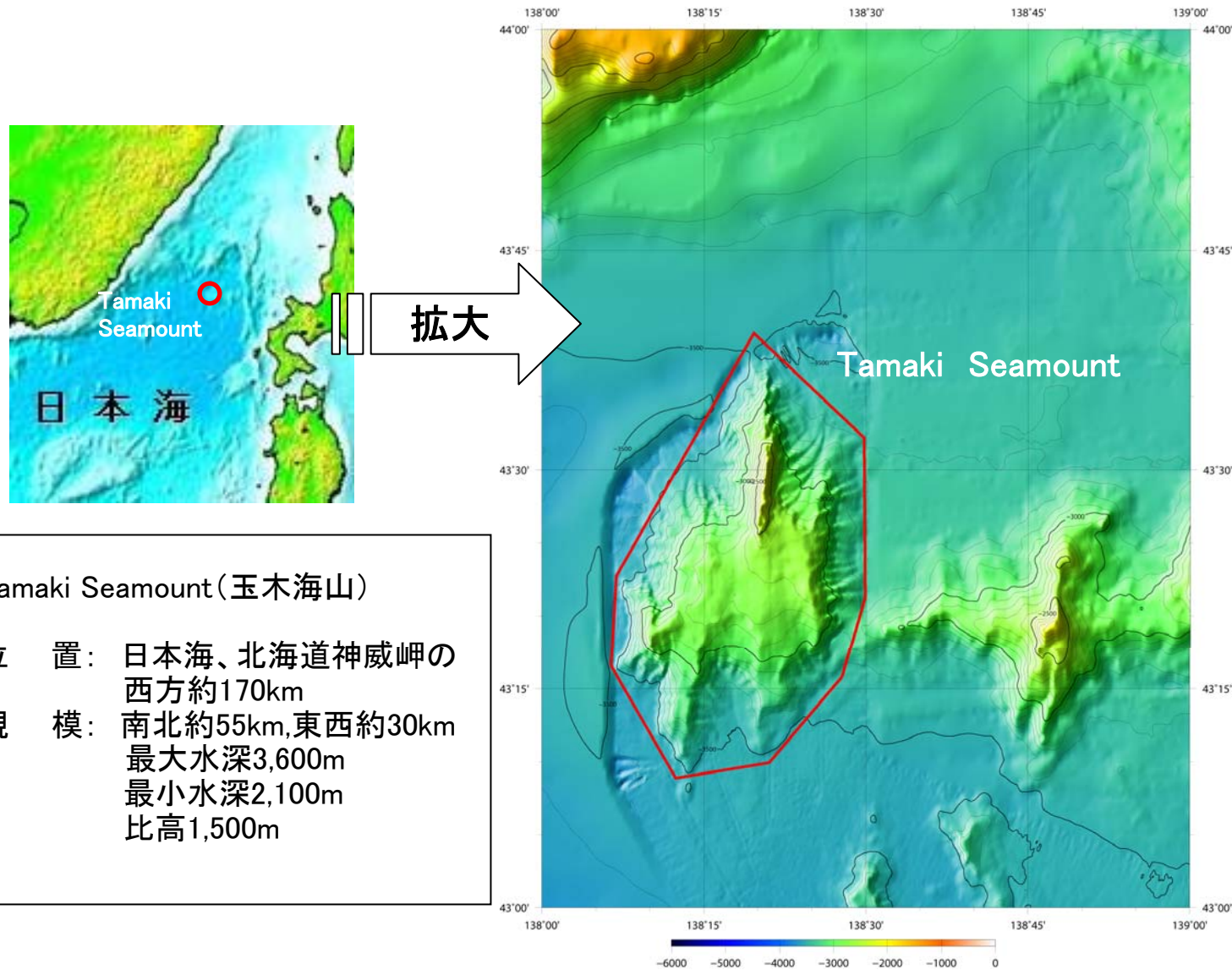


海のもしものは……  
118番の活用

3



### 3. 日本人の名前が海底地形名に



9月12～16日の間、世界の海底地形名の統一を図っている大洋水深総図（GEBCO）委員会 海底地形名小委員会（SCUFN）が開催され、世界の海洋地質学・地球物理学の発展に貢献された故 玉木賢策 東京大学教授の名前を冠した「Tamaki Seamount（玉木海山）」が国際的に承認・登録されました。なお、海底地形に日本人の名前が登録されたのは今回で15例目になります。

### 4. MH575「せきれい」 飛行時間10,000時間達成!



平成23年9月24日、巡視船「そや」の搭載機MH575「せきれい」の飛行時間が10,000時間に到達しました。同機は昭和57年に鹿児島航空基地に配属されてから、那覇航空基地、釧路航空基地と全国を縦断して、平成22年12月24日にそやへ配属され、これまで海氷観測、洋上救急、東日本大震災での捜索救援活動などにあたり、海上保安業務に大きな貢献をしてきました。

○かいほニュースは海上保安庁ホームページでもご覧いただけます。  
<http://www.kaiho.mlit.go.jp/info/kaihonews/index.html>

海上保安庁 〒100-8918 東京都千代田区霞が関2-1-3  
03-3591-6361 (代表)  
(編集・企画) 海上保安庁総務部政務課 政策評価広報室

